

NC500R

リングスキャナ

ご利用の手引き

1.0c 版
(2018 年 1 月)

はじめに

このたびはリングスキャナ NC500R シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本手引きには、NC500R と外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて NC500R シリーズを使用する前に必ずお読みください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら下記の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて NC500R を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

商標について

- ・ Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。
- ・ iPhone, iPad 及び iPod は、Apple inc. の商標です。



日栄インテック株式会社 Auto-ID グループ

〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5 日栄インテック御徒町第1ビル
電話：03-5816-7141 FAX：03-5816-7140 e-mail：info@barcode.ne.jp


安全上のご注意


ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。


本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。








 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



記号の意味：

 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。

 記号は、禁止（してはいけないこと）であることを示しています。

 記号は、遵守頂きたい内容を示しています。

 警告	
重要：システム設計者へ ◆ 薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。	
◆ 次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。 ➢ 煙がでている場合、変なおいや音がしている場合 ➢ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合 ➢ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合	
◆ 製品を分解したり、改造したりしないでください。 事故や故障の原因になります。	
◆ 湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。 感電の原因となることがあります。	

 注意	
次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。 ◆ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いもの下敷きにならないようにしてください。 ◆ スキャナ本体をたたいたり落としたりして衝撃を与えないでください。 ◆ 不安定な場所に置かないでください。 ◆ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。 ◆ レーザー光に関する注意 読取り窓からレーザー光を直接覗かないで下さい。目に障害を及ぼす場合があります。	

無線設備について

本製品には電波法で定められた 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線局の特定無線設備として、工事設計認証を取得済みの Bluetooth モジュールが搭載されています。その為、日本国内においては無線局の免許は必要ありません。

法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造及び分解
- ・認証証明ラベルの剥離

Bluetooth モジュールの情報は以下の通りです。

- ・特定無線設備の種類：証明規則第 2 条第 1 項第 19 号の無線設備
2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システム

Bluetooth について

- ・本機は、Bluetooth 標準規格に準拠していますが、接続確認済み機器以外との接続は保証できません。
- ・Bluetooth 対応機器が使用する電波帯(2.4GHz 帯)は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。その為、Bluetooth 対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響によって通信速度や通信距離の性能が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ・機器間の障害物、電波状況により、通信速度や通信距離は異なります。
- ・本機は、BLE(Bluetooth Ver4)対応機器となっております。このため接続機器側も Bluetooth Ver4 以上かつ Windows8 以降の機器でないとうまく繋がらない場合がありますのでご注意ください。

本製品の輸出について

本製品は日本国内でのみ利用可能となっております。

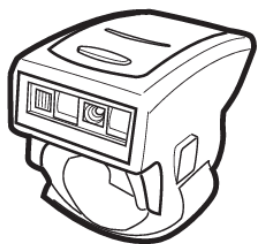
このため海外でのご使用はおやめください。

バッテリーについて

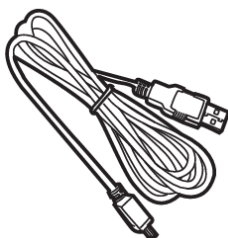
本製品にはリチウムポリマー電池が使用されています。リチウムポリマー電池は、「資源有効利用促進法」により電池メーカー及び電池を使用する機器メーカーに回収・リサイクルが義務付けられた小型二次電池です。弊社では使用済み小型二次電池の回収・リサイクルを実施しております。寿命となったリチウムポリマー電池の交換・回収に関しては修理扱いにてご対応させていただきます。(交換：有償、回収：無償 注記：どちらの場合もお送り頂く際の運送費はご負担をお願いしておりますのでご注意ください。)

お送り頂く際は、修理依頼書（保証書裏）を記載の上、同梱して P1 下の住所にお送りください。

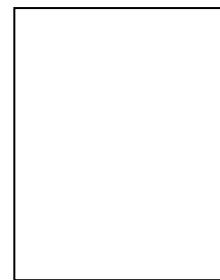
梱包内容



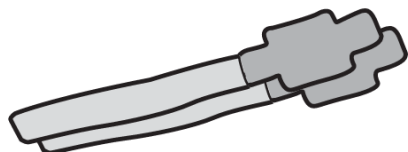
NC500R (本体)



充電/通信用ケーブル



本誌 (A4サイズ)



指固定用ベルト (予備: 2個)



保証書 (裏側: 修理依頼書)

各部名称

ファンクションキー

ステータスLED

マイクロUSBポート
(充電/有線通信用)

読取り口

スキャンキー
(左右両方あり)

指固定用ベルト

主な仕様

外形寸法	: 29(W) × 46.5(L) × 27(H)mm
質量	: 約 20.5g(バッテリー含む)
電源	: リチウムポリマバッテリー (200mAh/3.7V)
充電時間	: 2.5 時間
バッテリー寿命	: 6000 スキャン (1 スキャン / 5 秒)
無線仕様	: Bluetooth 4.1 (Class2)
通信距離	: 10m (但し、環境により異なります。)
通信仕様	: 無線 HID, 有線 HID, 有線仮想 COM
分解能	: 0.1mm (但し、環境により異なります。)
読取光源	: 白色 LED(エイミング光: 赤色レーザー)
環境対応	: RoHS 2.0、WEEE 指令準拠
EMC	: CE, FCC ClassB

ご使用方法

(1) 指固定用ベルトの端をマジックテープから剥がし、指を差し込む。



(2) 指から本体が動かない程度に指固定用ベルトを締め付けてマジックテープを止める。



(3) 下写真のように指を曲げて親指にてスキャンキーを押してレーザーが照射されるかご確認ください。(スキャンキーは軽く触れるだけでレーザーは照射されます。)

【注記】ご確認の際、読取り口を覗き込んでレーザーを見ないでください。
目に障害を及ぼす場合があります。



スキャンキーは反対側にもあります。
初期状態ではどちらでもレーザーが出るようになっております。

(4) バーコードにレーザーを当て読取りができることをご確認ください。

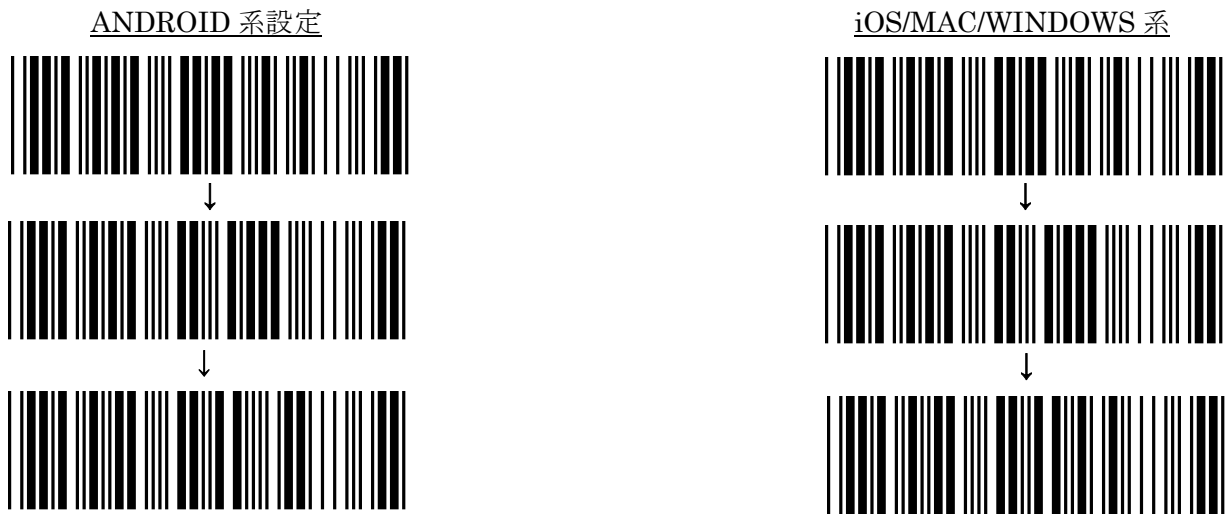
【注記】この状態では読取り音は鳴りますが通信はされません。通信も一緒にご確認したい場合は、次項の接続手順をご参照ください。



接続方法

(1) 無線 HID での接続

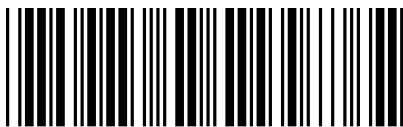
- 1) 無線 HID の接続には ANDROID 系と iOS/MAC/WINDOWS 系で設定バーコードが異なりますので接続機器の OS をご確認の上、設定を行ってください。



- 2) 接続機器側の Bluetooth の項目を ON にして本機のファンクションキーを長押ししてください。
(ステータス LED が青色点滅になるまで長押しして下さい。(約 2 秒))
暫くすると Bluetooth の項目の所に "Scanner ※※※※※※" が表示されますのでタッチまたはクリックしてください。更に暫くすると接続完了などのメッセージが表示されましたらペアリング (接続) 完了となります。
※接続できない場合は、一度できた項目を削除して接続方法の (1) から再度行ってみてください。
- 3) メモ帳やキーボード信号が出力可能なソフト (Excel や Word 等) を立ち上げて頂きお手元にあるバーコードを読んでデータが正常に出力されるかご確認ください。

(2) 有線 HID での接続 (Android/Windows 用)

- 1) 充電用ケーブルを本機に接続し、出力先の USB ポートに充電用ケーブルの USB コネクタを接続してください。
- 2) 下のバーコードを本機にて読んでください。



- 3) 自動で USB ドライバがインストールされますので暫くお待ちください。
- 4) メモ帳やキーボード信号が出力可能なソフト (Excel や Word 等) を立ち上げて頂きお手元にあるバーコードを読んでデータが正常に出力されるかご確認ください。

(3) 有線仮想 COM での接続

この接続でご使用の場合は、専用のドライバをインストールする必要があります。下記 URL よりダウンロードの上、先にインストールを行ってください。

<http://www.barcode.ne.jp/download/1068.html#NC500R>

1) 充電用ケーブルを本機に接続し、出力先の USB ポートに充電用ケーブルの USB コネクタを接続してください。

2) 下のバーコードを本機にてお読みください。



3) 接続先のデバイスマネージャーの COM と LPT の項目に下記名前のもが表示されているか確認を行い、この COM 番号が何番になっているか確認を行う。

STMicroelectronics Virtual COM Port (COM※※)

4) RS232 信号を受取ることができるソフトを立ち上げて頂き COM 番号を上記番号と合わせて頂いた上でお手元にあるバーコードを読んで頂き、データが正常に出力されるか確認を行ってください。

工場出荷時設定

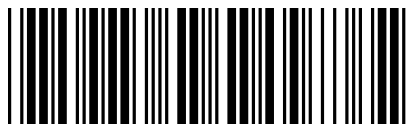
下のバーコードを読むと工場出荷時の設定に戻ります。



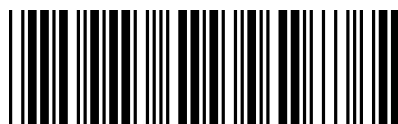
※本設定はペアリング情報も初期化されてしまいますのでご注意ください。

キーボード種類（国別）設定

初期状態は”英語キーボード”になっております。“日本語キーボード”が必要な場合は、設定を行ってください。



日本語キーボード



英語キーボード

【注記】”開始”・”終了”のバーコードは読む必要はありません。

ターミネータの設定

バーコードデータの後ろに特殊信号を付加して出力することができます。

初期状態は”CR”が付加されています。



CR



T A B



CR + LF

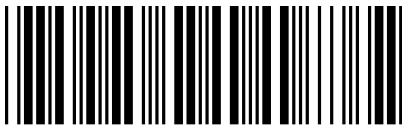


なし

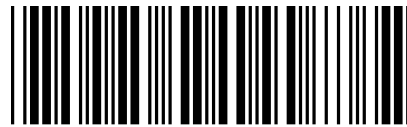
【注記】”開始”・”終了”のバーコードは読む必要はありません。

スキャンキーの設定

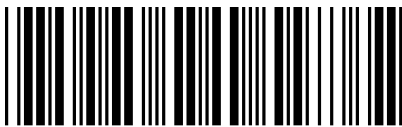
スキャンキーは本機の両側に付いており右手でも左手でも持ち替えるだけで押すことができるようになっております。また、初期状態では両方使えるようになっていますが、設定により片方のみ効くように設定することができます。



両方機能する



右手用のみ機能する



左手用のみ機能する

【注記】”開始”・”終了”のバーコードは読む必要はありません。

読取り可能なバーコード

- 1) 初期状態で読取り可能なバーコード
 - ・ JAN/EAN-13, JAN/EAN-8, UPC-A, UPC-E
 - ・ CODE39
 - ・ CODE128, EAN128 (GS1-128)
 - ・ CODABAR(NW7)
 - ・ Interleave 2 OF 5

- 2) 設定にて読取り可能なバーコード
 - ・ GS1-Databar
 - ・ CODE93
 - ・ Industrial 2 OF 5
 - ・ Matrix 2 OF 5
 - ・ TELEPEN
 - ・ CODE11
 - ・ CODE32
 - ・ MSI
 - ・ IATA